

同級生に会いに大阪へ



▲ 地元開催の同窓会では参加できない方もいますが、大阪では、関西在住者の同級生が集まり、賑やかに同窓会が行われました。

昭和 34 年に高山中学校を卒業された方々の同窓会が大阪で行われました。

例年地元で同窓会は行っていましたが、今回は、九州新幹線が全線開通したことや、卒業生約 290 人のうち約 60 人が関西に在住していることから、約 2 年前から計画を立て、初めての大阪での開催となりました。

参加者は 42 人でしたが、半数以上が関西在住者で、半世紀ぶりに再会した人もおり、当時を振り返りながら、賑やかに楽しく同窓会ができたそうです。

地域を見つめ、そして前向きに

民生委員として 15 年

くろきかずと
黒木和人さん（下西振興会）が、民生委員として多大な貢献があったとして厚生労働大臣から表彰を受けました。

黒木さんは、平成 7 年 12 月 1 日から平成 22 年 11 月 20 日までの 15 年間、岸良地区の 4 振興会（下西・上西・大原・姫門）の担当民生委員として活躍してくださいました。

「ただ、長くやってただけ」と話す黒木さんですが、民生委員として各家庭を訪問し、高齢者等と会話をかわすことで相手を元気づけるとともに、健康状態や非常時に備えた避難経路を把握するなど精力的に活動されてきました。

「夜中、高齢者から電話で起こされ、何度も病院に行ったこともある。大変だったが、高齢者の力になれてうれしかった。また、民生委員になることで自分も成長させてもらった。高齢者と会話することで、地域の歴史や文化など様々なことを学んだ」と話し、これを自身の文化財保護員の活動に活かすとともに、伝統芸能の継承にも率先して取り組んでいます。

少子高齢化が進み、地域コミュニティが希薄になる中、「どんな活動も前向きに、そして地域の中に踏み込んでいくことが重要。どんどん会話することが、地域の活性化につながる」と話してくれました。

75 歳を迎えた黒木さんは、これからも地域を見つめ、地域の一員として自分に出来ることを前向きに実践していくそうです。



▲ 「5 月 31 日に鹿児島市で行なわれた県民生委員児童委員協議会総会では、九州社会福祉協議会会長表彰も受賞されました」

※民生委員は原則 75 歳未満までと定められています。